

● 内政

1 金融インテリジェンスセンター、海外への多額の不正送金を検知

金融インテリジェンスセンター(FIC)は、2023年第4四半期に外国人によるアジアへの28億ドル以上の不正送金を検出したことを明らかにした。関連し、脱税、詐欺、マネーロンダリング等の疑いについて、法執行機関に450件の報告を行ったと公表した。（3月4日付 News Diggers）

2 国際 NGO、多額の不正送金を憂慮

国際 NGO であるトランスペアレンシー・インターナショナル・ザンビアは、項1で触れたアジアへの不正送金について強い憂慮を表明した。会見の中で、政府に対し不正送金に関与した企業・個人への強い罰則を求めるとともに、予防するための法整備・温床となりうる各種資金への規制強化を、求めた。（3月5日付 News Diggers）

3 ザンビアの民主主義指数、大幅に改善

ヴァラエティズ・デモクラシー・インスティテュート (V-Dem) が発表した2024年民主主義レポートによると、ザンビアの民主主義指数は大幅に改善した。2009年以降、独裁的支配の脅威に直面していたとされるが、ヒチレマ政権の発足以降、弾圧の減少など大きな進展を示していると評されている。（3月10日付 Lusaka Times）

4 市民団体、ヒチレマ大統領他政府高官への米国制裁を要求

3月8日付の在ザンビア米国大使館宛の書簡にて、当地の市民団体（当地キリスト教元大司教名義）は、ヒチレマ大統領他政府高官に米国の制裁を科すよう要求した。理由としては民主主義の抑圧や警察の横暴などとしているが、米国のジンバブエ制裁に関連しての意趣返しと見られる。（3月14日付 News Diggers）

5 内務・国内治安大臣、銃規制の見直し開始

国内で増加する銃器を用いた犯罪行為を踏まえ、内務・国内治安大臣は新規銃ライセンスの発行を停止し、銃器法の見直しを開始したと発表した。1月にヒチレマ大統領が同大臣に指示を出したことに対する対応と見られる。（3月14日付 News Diggers）

6 大統領、国民議会で演説

3月15日、ヒチレマ大統領は国民議会の開会に併せ、議会演説を行った。演説の中では、情報セキュリティ保護対策、国内生産品及び国内企業の奨励、犯罪対策、グッドガバナンス、法の支配について触れ、独立60周年を迎えるにあたり国民に対して更なる努力と勤勉さの向上を呼びかけた。（3月16日付 News Diggers）

7 大統領、各省事務次官級の人事交代

3月18日、ヒチレマ大統領は会計検査院長・財務・国家計画省内の内部監査担当、農業省及び法務省の事務次官の即時交代を命じた。詳細な理由については不明。（3月18日付 大統領府プレスリリース）

8 国際 NGO、大統領の高官交代の理由を懸念

国際 NGO であるトランスペアレンシー・インターナショナル・ザンビアは、項7で触れた大統領による高官交代、特に財務・国家計画省関係者の交代に関し、財務・国家計画省高官の反汚職委員会の捜査が継続していることを踏まえ、正しい信賞必罰のためにも高官人事の理由の開示が必要であると表した。（3月22日付 News Diggers）

9 カクボ前外相、中国人実業家と和解

2月に中国人実業家に訴えられたカクボ前外相は、中国人実業家と和解したと表した。カクボ前外相は中国人実業家に対し約30万ドルの返済と、

高級車の返却を行った模様。なお、反汚職委員会の調査は和解事項とは関係なく、捜査は継続中の由。(3月23日付 News Diggers)

● 外交・対外関係

1 ハインベ外相代行、米国のジンバブエ制裁についてコメント

3月5日、ハインベ外務・国際協力大臣代行は、同省が発したプレスリリースの中で、3月4日に米国が発表したジンバブエに対する制裁プログラムの終了を歓迎し、南部アフリカ地域の発展のためにも好ましいと評した。同時にザンビア政府は、SADC 地域内外の国々と緊密に協力することへの揺るぎないコミットメントを表明した。(3月5日付外務・国際協力省プレスリリース)

2 大統領、フィンランド国会財務委員会代表団と会談

3月11日、ヒチレマ大統領は当地を訪問中のフィンランド国会財務委員会代表団と会談した。会談ではフィンランドの中小企業向けの支援プログラムなどの実施に感謝が表されるとともに、更なる関係強化策としてフィンランドが地質調査やEV バリューチェーン能力開発で経験を積んでいることから、特に鉱業分野での両国間の協力強化が協議された。また、フィンランドの支援を得て気象・気候早期警戒サービスシステムの近代化を図る中で、農業・林業における協力の継続が呼びかけられた。(3月11日付 ヒチレマ大統領 Facebook)

3 ハインベ外相代行、アイルランド住宅・地方自治体・伝統相と会談

ハインベ外相代行は当地を訪問中のオブライエ・アイルランド住宅・地方自治体・伝統相と会談した。会談の中では、両国の政策協議を更新するMOU が締結されたほか、WFP を通じたアイルランドの干ばつ支援への感謝が述べられた(3月1

9日付 外務・国際協力省プレスリリース)

4 SADCダブルトロイカサミット、ザンビアで開催

3月23日、ヒチレマ大統領は南部アフリカ開発共同体(SADC)政治・防衛・安全保障トロイカオーガン議長としての立場で、コンゴ民主共和国東部及びモザンビーク共和国の治安情勢を議論するため、史上初となるSADCダブルトロイカサミット(SADCトロイカ及びSADC政治・防衛・安全保障トロイカの同時開催)を開催した。各国首脳級が参加したサミットの中では、SADC域内での治安情勢悪化に懸念が表されるとともに、対策が議論され、特にコンゴ民主共和国東部への支援提供が決定された。ヒチレマ大統領は議長として、平和なくして発展は不可能であり、平和と安定の維持に向け努力が必要と述べた。(3月24日付 News Diggers)

5 大統領、米国議員団と会談

ヒチレマ大統領は、当地を訪問中の米国上院議員団と会談した。ヒチレマ大統領からは米国のザンビアへの支援に謝意が述べられるとともに、ロビト回廊や鉱物資源開発に関する更なる協力が要請された。米国側からは、2000年以来、米国がザンビアの公衆衛生、教育、食糧安全保障などに70億ドル以上を投資しており、その成果が見えることは喜ばしく、共に歩むパートナーとしてザンビアが大きな可能性を秘めていることに期待が述べられた。(3月27日付 News Diggers)

6 大統領、ボツワナ大統領と会談

ヒチレマ大統領はザンビアを訪問したボツワナ・マシシ大統領と会談した。会談の中で、ボツワナからはザンビアの債務再編に祝意が述べられるとともに、10月に実施されるボツワナの選挙にあたりSADC選挙監視団の受入れが表明された。両首脳の議論の中で、双方の比較優位を積極的に

水平展開することが議論され、観光や資源管理などでのより緊密な両国連携が実施される見込み。

(3月28日 News Diggers)

(了)